



平成25年度

橋梁技術発表会及び講演会

— 100年橋梁を目指した技術 —

参加費無料
定員 **350**名
申込先着順

会場 ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター7Fホール)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49
Tel.06-6910-8500

平成25年

日時 **10/18** (金) 13:00~17:05

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長・専務理事 下保 修

13:10~13:40

橋建協報告

いい橋つくろう

橋梁技術発表会実行委員会

申込方法

- ①Fax. 06-6535-5086(裏面の用紙に記載)
- ②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は9月上旬から)

申込期限

平成25年10月4日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所
〒550-0005 大阪市西区西本町1-8-2 三晃ビル5階
Tel. 06-6533-3238

継続教育 CPDS認定予定

- ※東京地区は 10月11日(金) 銀座ブロッサムホール
- 北海道地区は 11月 1日(金) ホテルモンテレーデルホフ札幌
- 東北地区は 11月 8日(金) 仙台国際センター
- 九州地区は 11月22日(金) レソラNTT夢天神ホール
- 中部地区は 12月 6日(金) 東建ホール

開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードお願いします。

第1部:技術発表会

13:40~14:20

1.100年橋梁を目指して

—鋼コンクリート合成床版を用いた少数桁橋の維持管理—
技術委員会 床版小委員会 新井 克典

14:20~14:30

休憩

14:30~15:10

2.我が国の鋼床版疲労対策技術と最近のプロジェクト

技術委員会 鋼床版小委員会 夏秋 義広

15:10~15:50

3.船舶衝突による

合成桁斜張橋の損傷と補修

—ベトナム・ビン橋における主桁部分取替えとケーブル取替えの実施報告—
企画委員会 国際小委員会 井谷 達哉

15:50~16:00

休憩

第2部:特別講演会

16:00~17:00

1.橋梁交通振動とモニタリング

神戸大学大学院 工学研究科
市民工学専攻
教授 川谷 充郎



17:00~17:05

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会 副委員長 岩崎 祐次

アクセス



- 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ約350m。
- 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

1 100年橋梁を目指して

—鋼コンクリート合成床版を用いた少数桁橋の維持管理—

鋼コンクリート合成床版を用いた少数桁橋は、合理的で経済的な鋼橋の代表的な構造形式として広く普及しつつあります。道路構造物などの社会資本ストックの増大とともに増え続ける維持管理費用を抑制しながら、安全に道路を利用するためには、鋼橋の初期建設費を縮減するとともに経済的に維持管理および必要な更新を行うことが不可欠となっています。日本橋梁建設協会では、100年以上にわたって供用される鋼橋を100年橋梁とよんでいます。本報告は、新しい構造形式である鋼コンクリート合成床版を用いた少数桁橋で、100年橋梁を実現していくために必要な維持管理手法を具体的に紹介します。

2 我が国の鋼床版疲労対策技術と最近のプロジェクト

鋼床版には、軽量で架設工期が短い等の多くのメリットがあり、今後、都市内高架橋の床版取替え工事に普及することが考えられます。疲労対策も各方面で研究が進められ、日々、改善・向上しています。そこで、我が国の鋼床版に関する新しい疲労対策技術と鋼床版小委員会で行っている取り組み、さらに、最近の鋼床版プロジェクトの概要について報告します。

3 船舶衝突による合成桁斜張橋の損傷と補修

—ベトナム・ビン橋における主桁部分取替えとケーブル取替えの実施報告—

ベトナムのビン橋(合成桁斜張橋)に、2010年、台風1号の影響で流された3隻の貨物船が衝突し、主桁とケーブルが損傷した。ODAの緊急援助対象となり、主桁補修・ケーブル取替え工事を行った。主桁補修では、一時補強部材を設置し、損傷部位を切断、新設主桁を現場溶接し健全な状態を復元した。ケーブル取替え工事では、交換するケーブルの上段ケーブルをサグ取り用とガイドケーブルとして有効利用できる取替工法を提案し取替えを行った。

特別講演会 講演者紹介

1 橋梁交通振動とモニタリング

—略歴—

昭和47年3月25日 大阪大学工学部土木工学科 卒業
昭和49年3月25日 大阪大学大学院工学研究科
修士課程土木工学専攻 修了
昭和49年4月1日 大阪大学工学部助手
(土木工学科)
昭和60年3月27日～昭和61年1月26日
コロンビア大学客員研究員
(文部省在外研究員)
昭和63年5月11日 工学博士(大阪大学)
昭和63年6月1日 大阪大学工学部助教授
(土木工学科)
平成11年4月1日 神戸大学工学部教授(建設学科)
平成19年4月1日 神戸大学大学院工学研究科教授
(市民工学専攻)
現在に至る

—所属学会—

土木学会、日本風工学会、
日本鋼構造協会

—学会活動歴—

平成15年度・16年度
土木学会 理事・関西支部 幹事長
平成24年度・25年度
土木学会 理事・副会長

—社会活動歴—

NPO法人 関西橋梁維持管理
—大学コンソーシアム 副理事長

—最近の研究分野—

- 1) 橋梁の走行荷重による動的応答特性の評価
- 2) 橋梁振動データによる損傷推定(ヘルスマニタリング)
- 3) 高架橋の車両載荷による地震応答特性
- 4) 橋梁の振動使用性の評価
- 5) 橋梁交通振動の制御

川谷 充郎

神戸大学大学院 工学研究科
市民工学専攻
教授

講演概要

橋は空間を跨いで荷重を通すことを目的とする構造物であり、荷重が移動することにより橋は振動している。その動的作用・影響は強度設計において衝撃として考慮されていることは云うまでもない。橋梁交通振動に長く関わって来た端緒はこの衝撃係数の評価であったが、最近の研究は環境振動影響(地盤振動・低周波音)、地震と車両との連成、さらに交通振動データから橋梁の健全度診断を行うとする振動モニタリングに移行してきている。

この講演では交通振動の影響について説明し、設計者の留意点を述べたい。

FAX番号:06-6535-5086

平成25年度

10月18日(金)

橋梁技術発表会

[大阪地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無